

# デジタルアーカイブと その社会的活用

第3回

立命館大学 映像学部講義 (2021-04-26)

福田一史

<https://scrapbox.io/fukudakz/21デジタルアーカイブとその社会的活用>



# デジタルアーカイブ学会 第6回研究大会

- 第6回研究大会 in 仙台 (オンライン 2021/4/23～24)
- <http://digitalarchivejapan.org/kenkyutaikai/6th>

# コンテンツ

1. デジタルアーカイブとは（つづき）
2. デジタルアーカイブをめぐる標準技術
3. デジタルアーカイブの事例

# デジタルアーカイブとは

前回のつづき

# 日本におけるデジタルアーカイブ概況

- 国内でも文化・知的資源の提供は様々行われている
- ただし、欧米や中国・韓国などと比べても「**量的に十分な状況とは言えない**（デジタルアーカイブの連携に関する関係省庁等連絡会・実務者協議会., p. 10）」
  - 結果として、海外の日本研究も減少傾向に
  - 海外の動向については次回以降で紹介

# 日本における課題

- **オープンな標準（Open Standards）**に関するノウハウの構築・共有
  - APIの提供が限定的
  - 専用アプリケーションが必要な場合がおおく、汎用性が低い
- 再利用性・アクセシビリティの高い**コンテンツデータ**の提供
  - 画像のみでテキスト化などが不十分、そのためアクセス性が低い
- **二次利用**規定の整備
  - 提供するデータの再利用性が低く、結果としてサービスの価値が向上しない

# 政策形成における必要性

1. 欧米さらには東アジアなどでは、文化資源政策は優先的に取り組まれている。文化力を背景とする、国の政治的・経済的戦略の構築が改めて重要視されている。
2. 出版などプラットフォームの寡占化が進み、各国の産業は強く影響を受けている。
3. デジタル化による文化資源管理の制度・技術の変容が進んでおり、今後の産業構造に影響する。
4. ハコモノ行政からの脱却の代表的アプローチとして、知的・文化資源政策に注目が集まっている。
  - 『デジタルアーカイブの理論と政策』（pp. 7-8）より



# 政策的アプローチの問題点

- 旧来の文化資源に関する政策は、各省庁さらには自治体など、**個別のアプリケーション**による、独自路線で進められてきた。そのため**小規模で再利用性の低い文化資源アーカイブが乱立**。
  - 縦割り行政的弊害
- 結果として**電子図書館構築で失敗**。
  - 中井万知子. 2019. “「電子図書館」再考(前篇).” 立正大学図書館司書課程年報 = *Annual Report of the Librarian Course, Rissho University*, no. 5: 2–23. <https://doi.org/info:doi/10.34386/00007710>.
  - 中井万知子. 2020. “「電子図書館」再考(後篇).” 立正大学図書館司書課程年報 = *Annual Report of the Librarian Course, Rissho University*, no. 6: 17–44. <https://doi.org/info:doi/10.34386/00007671>.

# 図書館情報学アプローチの有効性

- 柳（2020, pp. 12-14）は以下の論点から、**図書館情報学アプローチ**による文化資源政策に対する**有効性**を指摘した。
  1. 学問体系としての歴史
  2. アクセス向上という目的に対する普遍性・体系性と真正性
  3. 「場」に関する関心の高さ
  4. 利用者サービスを一体的に論じる
  5. 多様性の保証

# 今後の方向性

- コンテンツ作成・データ提供の方法論の**共通化**（標準化）
- 機関・個人の**連携強化**
  - 学術・技術をテーマとする会議や研究会の開催
- **専門人材の育成**
- 国際会議の参加、留学生の行き来、国際プロジェクトの推進など海外との交流を通じた最新動向の共有
- 安定的な予算の確保
  - プロジェクト型活動の有期性についての課題

# デジタルアーカイブの事例と 情報流通

# 事例

- 1990年代後半ごろより、さまざまなデジタルアーカイブの実践が進められてきた。

# デジタルアーカイブ リンク

- “二次利用がしやすいデジタルアーカイブ（国内の図書館） | 調べ方案内 | 国立国会図書館”。

[https://rnavi.ndl.go.jp/research\\_guide/entry/post-1044.php](https://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/post-1044.php).

- “デジタルアーカイブ等の提供機関一覧”。

[http://current.ndl.go.jp/files/research/2009/digital\\_archives\\_list.pdf](http://current.ndl.go.jp/files/research/2009/digital_archives_list.pdf).

- “我が国におけるデジタルアーカイブ推進の方向性”。

[http://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/digitalarchive\\_kyougikai/houkokusho.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/digitalarchive_kyougikai/houkokusho.pdf).

- “アンドラ デジタルアーカイブリンク”。 <https://andla.jp/da/>.

# デジタルアーカイブの情報流通

- **デジタルアーカイブ**：図書館、博物館、美術館、文書館、企業、研究機関、政府、自治体などにより構築される
- **ハブ**：分野・地域コミュニティがつなぎ役を担当
- **統合ポータル**：国・地域ごとの統合ポータルサービス

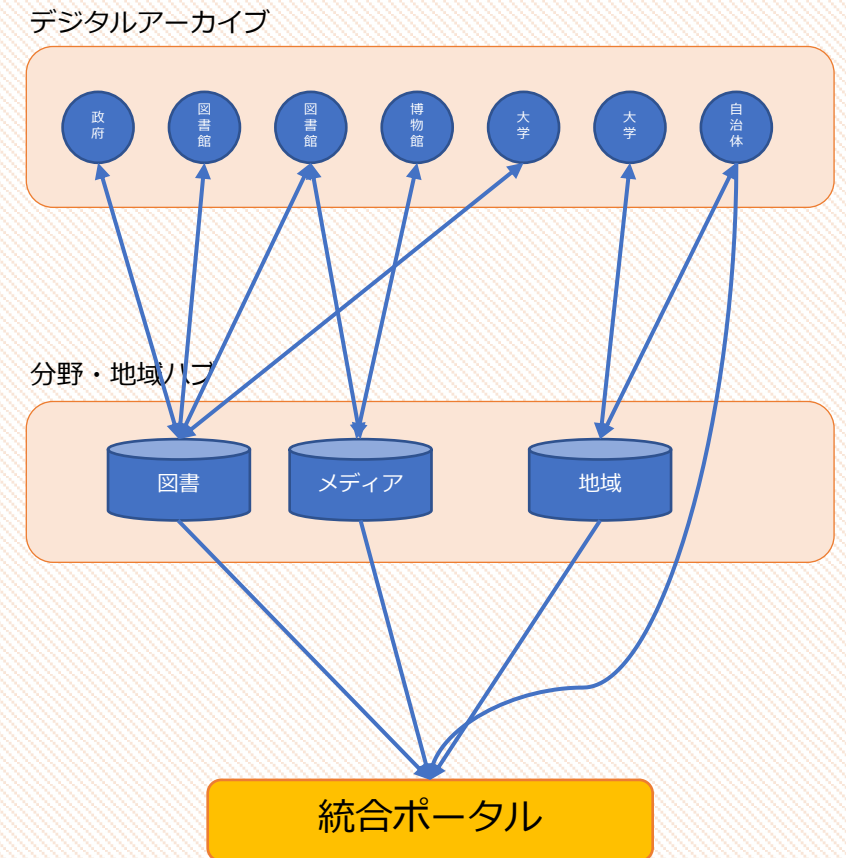


図. デジタルアーカイブ情報流通のイメージ



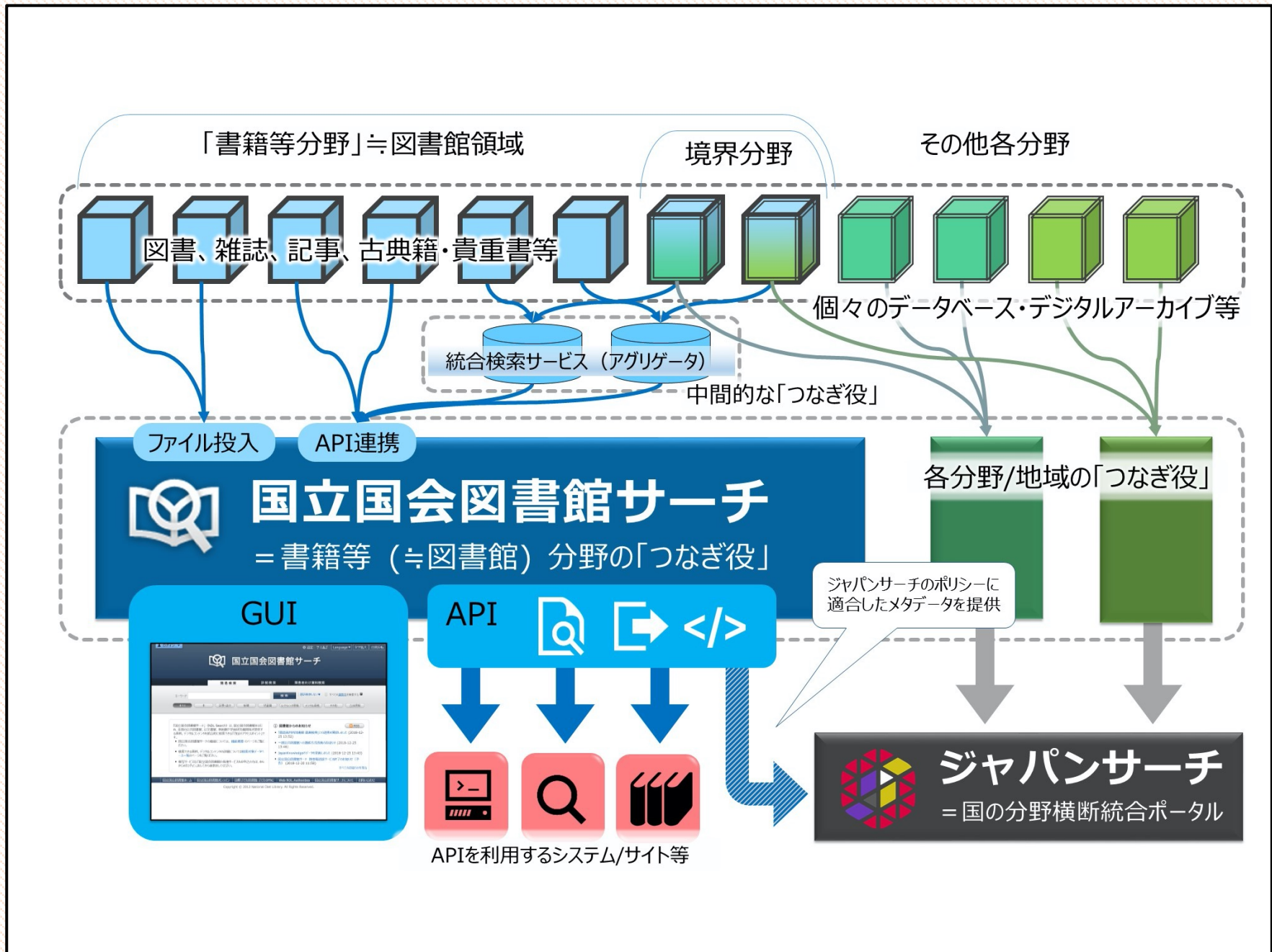


図. “ジャパンサーチへのデータ提供”. <https://iss.ndl.go.jp/information/renkei/jpsearch/>.





# 大阪市立図書館デジタルアーカイブ

- <http://image.oiml.city.osaka.lg.jp/archive/>
- 「大阪市立図書館デジタルアーカイブとは、大阪市立中央図書館が所蔵している古文書や写真、絵はがき、地図などの貴重資料の画像閲覧サービスです。」
  - “デジタルアーカイブについて”  
[https://www.oiml.city.osaka.lg.jp/?page\\_id=1635](https://www.oiml.city.osaka.lg.jp/?page_id=1635).
- 多くの公開コンテンツを含むアーカイブ（2017年3月～）として注目される。



図. 大阪市立図書館デジタルアーカイブ ウェブギャラリー

# 立命館大学アートリサーチセンター

- <https://www.arc.ritsumeikan.ac.jp/>
- 1998年設置。日本文化を対象とする複数のデータベースを公開し、海外の日本研究機関・日本資料所蔵機関と連携を進める。
  - 浮世絵ポータルデータベース. [https://www.dh-jac.net/db/nishikie/search\\_portal.php](https://www.dh-jac.net/db/nishikie/search_portal.php).
  - 古典籍ポータルデータベース. [https://www.dh-jac.net/db1/books/search\\_portal.php](https://www.dh-jac.net/db1/books/search_portal.php).
  - データベースのリスト. <https://www.arc.ritsumeikan.ac.jp/j/database/>.



立命館大学アート・リサーチセンター  
ARTRESEARCHCENTER, RITSUMEIKAN UNIVERSITY

図. アートリサーチセンター ロゴ

# 文化遺産オンライン

- <https://bunka.nii.ac.jp/>
- 2004年より試験版、2008年より正式版が公開。
- 「文化遺産オンラインは、文化庁が運営する我が国の文化遺産についての電子情報広場（ポータルサイト）です。全国の博物館・美術館等から提供された作品や国宝・重要文化財など、さまざまな情報をご覧いただけます。」
  - “文化遺産オンライン”. <https://bunka.nii.ac.jp/>.



# ColBase

- <https://colbase.nich.go.jp/>
- 2017年3月より公開
- 「ColBase: 国立文化財機構所蔵品統合検索システムは、国立文化財機構の4つの国立博物館（東京国立博物館、京都国立博物館、奈良国立博物館、九州国立博物館）と一つの研究所（奈良文化財研究所）の所蔵品を、横断的に検索できるサービスです。」
  - “ColBase”. <https://colbase.nich.go.jp/pages/about>.

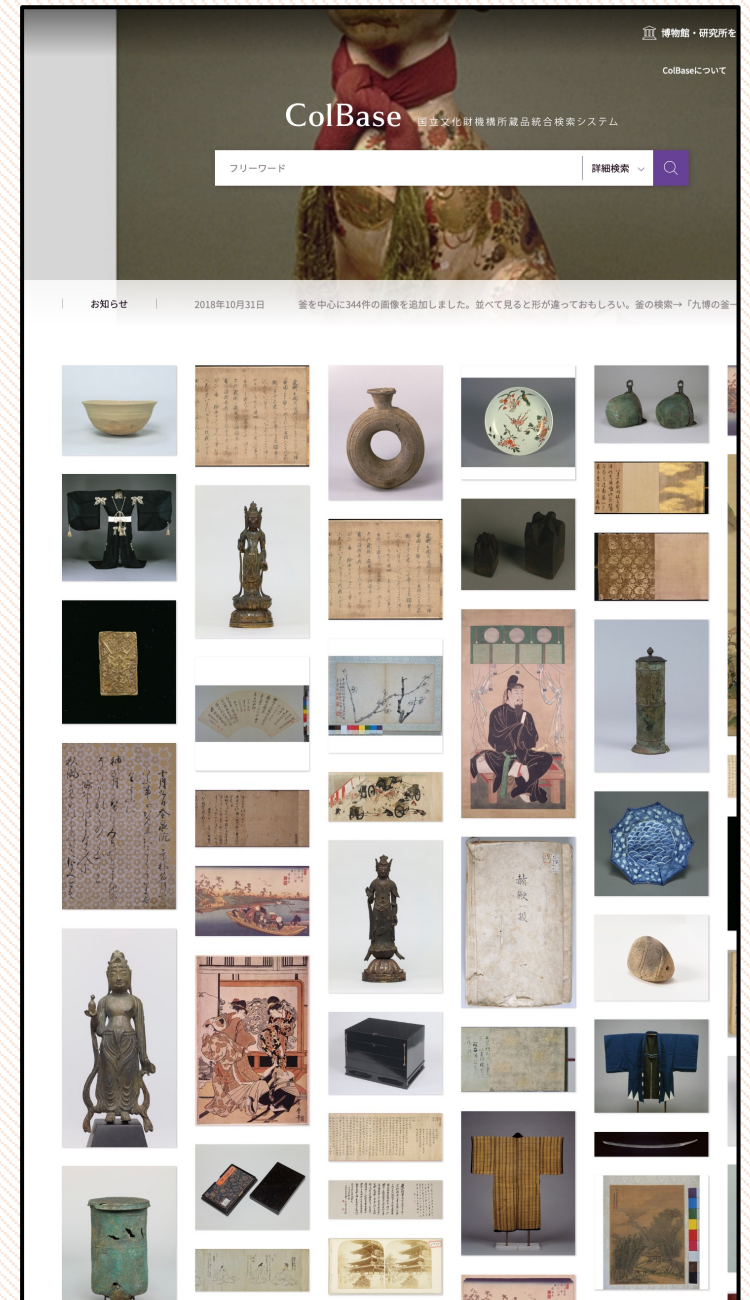


図. ColBaseトップページ. <https://colbase.nich.go.jp/>.

# メディア芸術データベース

- <https://mediaarts-db.bunka.go.jp/>
- マンガ・アニメ・ゲーム・メディアアートの作品・所蔵情報のデータベース。
- 2015年より試験版、2019年よりベータ版が公開される。
- マンガ所蔵館やゲーム所蔵館などの協力機関の作成する書誌データを収集する他、独自に作品情報などを作成・整理し公開。



メディア芸術データベース  
ベータ版

# 統合ポータル／アグリゲータ

- ヨーロッパ：Europeana
- アメリカ：DPLA (Digital Public Library of America)
- オーストラリア：Trove
- ニュージーランド：DigitalNZ
- 韓国：ヌリ・ポータル
- 日本：apan Search

# Europeana

- <https://www.europeana.eu/>
- ヨーロッパ（EU）各地のアーカイブ機関が公開する文化資源のメタデータを収集し、公開するサービス。2008年から公開。Europeana Network Association参加機関は3,100機関（2010年8月）。
  - “Europeana works with thousands of European archives, libraries and museums to share cultural heritage for enjoyment, education and research.” – About us | Europeana.  
<https://www.europeana.eu/en/about-us>.
- Google Booksプロジェクトに対する欧州の危機感からプロジェクトがスタート。



# Digital Public Library of America: DPLA

- <https://dp.la/>
- アメリカ各地の図書館・博物館・文書館などが有するデジタルコンテンツのメタデータを集約し、公開するサービス。2013年から公開。
  - 参考：塩崎亮, 佐藤健人, and 安藤大輝. 2015. “米国デジタル公共図書館 (DPLA)の過去・現在・未来.” カレントアウェアネス, no. 325 (September): 15–18. <https://ci.nii.ac.jp/naid/40020596481/>.

# Japan Search

- 2020年8月から正式版リリース。
- 「ジャパンサーチは、書籍、文化財、メディア芸術など、さまざまな分野のデジタルアーカイブと連携して、我が国が保有する多様なコンテンツのメタデータをまとめて検索できる分野横断型統合ポータルです。約2,100万件のメタデータを検索することができます。内閣府をはじめとする関係省庁・機関等と連携・協力し、国立国会図書館が中心となって2017年から構築を進め、2019年2月の試験版公開を経て、今般の正式版公開に至りました。」
  - “ジャパンサーチ正式版を公開しました（付・プレスリリース）”。  
[https://www.ndl.go.jp/jp/news/fy2020/200825\\_02.html](https://www.ndl.go.jp/jp/news/fy2020/200825_02.html).
- “現在のデータ - ジャパンサーチ”. <https://jpsearch.go.jp/stats>.



# JAPAN SEARCH